

日常語源辭典



鈴木棠三 著



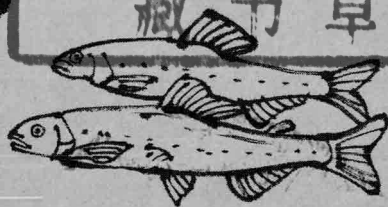
東京堂出版

日常語語源辞典



江鈴木棠学院图书馆

藏书章



東京堂出版

日常語語源辞典

平成四年六月十日 初版印刷
平成四年六月三十日 初版発行

著者 鈴木 木 堂 三
発行者 大橋 信 夫
印刷 株廣 済 堂

発行所 株式会社 東京堂出版
東京都千代田区神田錦町三ノ七(千〇)
電話〇三―二三三―七四一 振替東京三〇六番
製本 渡辺製本

著者略歴
明治四四年、静岡県生まれ。昭和
九年国学院大学国文科卒業。折口
信夫・柳田国男に師事。言語伝承
や民間伝承の第一人者。編著書
「ことば遊び辞典」「故事ことわざ
辞典」「類語辞典」「日本年中行事
辞典」「日本俗信辞典」「藤岡屋日
記」ほか多数。

ISBN4-490-10311-5 C1581

©Tozo Suzuki 1992
Printed in Japan

序

本書の礎稿は、かつて「ことば物語」と題して、福岡市の西日本新聞に昭和三十六、七年にかけて連載されたコラムである。すなわち昭和三十六年三月一日掲載の「ねこ」に始まり、翌三十七年九月十七日の「ことぶき」まで、五百五十回にわたった。

執筆の要領は、通常の日本語の語彙を随意に取上げて、その語形や語義、用法などの変遷を随筆風に記すことで、特に語源の問題を掘下げるのが主眼ではなかったが、ことばの変遷を記す以上、語源にも触れざるをえなかった次第である。なにぶんにも高校生にも理解でき興味をもてるようにとの注文であったから、特殊な語、難語古語にわたることはタブーであった。またコラムのスペースは四百字程度におさえられていたが、紙面のつごうでやや多目に引き延ばす必要や、四百字以内に削らねばならぬ場合もあった。

新聞社としては、何回という予定はなく、まず数十回掲載して反響を見た上で、継続か打ち切りかを決めようということだったらしいが、意外に好評をえた結果、五百五十回という長期連載になったもののである。

このような企画をたて、私を筆者に起用されたのは、西日本新聞東京支社文化部長の江頭光氏であ

った。同氏のことば好きは、後年に『博多人情ことわざ百科』（昭和五十年七月刊）の名著を物されたことでも知ることができる。

最初は、果して何回稿を続けられるか、じきに行き詰まるのではなからうかとのためらいもあったが、途中から存外に脂が乗ってきて、二十回ぶん、三十回ぶんとまとめて送稿できるようになった。

ただ困惑したのは、本社整理部を通過する際に、相当苛烈な「編集」を経験したことである。ことばの歴史などには関心のない係の人が、ただ機械的に字数行数を合せて切り張りするので、文意の通じない箇所がしばしば起き、また作者の論旨についてひどい誤解を招きそうな場合も往々に生じた。文章のふくらみなどは顧慮されず、すべて短絡的に処理されたことはいう迄もない。

そうした不満はあったが、毎日なにがしかの稿料が入ってくるこの仕事は、当分の私の貧しい家計には大いに魅力であったから、私はせっせとこの無署名原稿の執筆に励んだ次第であった。

そこで私は、新聞用は新聞用として諦め、別に自分用としていまし満足に行く形のものを作っておこうと考えた。連載が百回を越えたころ、そのうちの十数篇を選んで手を入れ、これに新たに選んだもの百余項を加えて、総数百四十二語について、思うままのスタイルに統一した一書を編んだ。昭和三十六年九月に東京堂から出版した『俗語——語源散歩』がそれである。（同書は、意外に評判がよく翌月すぐに版を重ねた。また平成二年には『相合傘』と改題して創拓社から刊行された。）

如上の経緯があつて、新聞連載のぶんも当時一応スクラップを作っておいたのではあるが、さして大切にもせず、半ば用済みの気持で居ったために、いつの間にか紛失してしまい、ほとんど思出すこ

ともなくて二十余年が過ぎた。ところが、最近になり、阿久根末忠氏が、この旧稿を惜しまれる余り、いろいろ手を尽されて、地元の図書館に保存されてあった新聞紙からコピーしたものを所持して居られた。これを氏は惜し気もなく提供して下さったのである。私としては真に感謝にたえない次第である。

せっかくの御厚志に酬いるため、こうして今回の刊行をすることになったものであるが、いざ一読してみると意に満たぬ箇所が続出した。まず存分にコピーに朱を入れたが、初校、再校ともにまたまた真赤になり、旧稿はやはり旧稿であると嘆じざるをえなかった。それでも、ようやくここに本らしいものになったのは、その間、特別に担当を申出られた福島光行常務の一かたならぬ御苦心の賜物である。ここに阿久根・福島両氏に厚く謝意を捧げて筆を擱く次第である。

平成四年五月末日

鈴木 棠 三

日常語語源辞典

項目一覧

文中に解説されていることばは、カッコ内に↓で見出し項目を示した。

【あ行】

愛敬	三	当たり前	四
あいづち	三	誂える	四
あいにく	四	当てこすり	五
あえて	四	あばた	五
あえなし(↓あえて)	四	溢れる(↓あぶれる)	六
青	四	あぶれる	六
あかぎれ	五	網あぶれる	六
暁	五	海女	七
あからさま	六	あまのじゃく	七
秋(↓商い)	六	あやかる	八
商い	六	あやつり人形(↓あやつる)	八
悪源太	七	あやつる	八
あくた	七	アユ	九
あくび	八	あらまし	九
あぐら	八	歩む(↓歩く)	一〇
		歩	一〇
		あたしばち(↓すりばち)	一三
		新しい	一四
		あだ名	一三
		値(↓値段)	一七
		あだ	一三
		遊ぶ	二
		足駄(↓下駄)	一〇
		アズキ(↓イネ)	三
		明日	二
		味気ない	二
		あざ笑う(↓浅ましい)	一〇
		アサリ	二
		あざむく	一〇
		浅ましい	一〇
		アサガオ	一〇
		憧れ	一〇
		アケビ	九

あるじ……………	二〇	いたわる……………	一六	ウグイス……………	三六
あわただしい……………	二	著しい(↓白)……………	二三	うしろめたい……………	三七
あわてる(↓あわただしい)……………	二	一目散……………	一六	うそぶく……………	三七
ア……………	二	イチョウ……………	一九	歌……………	三八
アワビ……………	二	井戸……………	一九	うたた……………	三八
胃……………	三	営む……………	三〇	美しい……………	三九
いいなずけ……………	三	田舎……………	三〇	うつつを抜かす……………	三九
家……………	三	いなずま……………	三	うなずく……………	四〇
いがいまし……………	三	いなく……………	三	うなだれる(↓うなずく)……………	四〇
碇……………	三	イナゴ(↓イネ)……………	三	うなる(↓わめく)……………	三九
息(↓いこい)……………	三五	イネ……………	三	うまい……………	四〇
いきどおる……………	四	イノシシ(↓しし)……………	三五	ウ……………	四一
いけにえ……………	四	いばる……………	三	うめく(↓わめく)……………	三九
いこい……………	三五	イモ……………	三	うやまう……………	四一
いぎこぎ……………	三五	妹(↓弟)……………	三	うやむや……………	四二
いさきか(↓さきやく)……………	一九	イモリ(↓ヤモリ)……………	二五	占……………	四二
十六夜……………	二六	否……………	四	うらぶれる……………	四三
泉……………	二六	いりり……………	四	うらやましい……………	四三
いせこみ……………	二六	祝……………	三	うららか……………	四四
忙しい……………	二七	鵜飼……………	三五	うるさい……………	四四
急ぐ(↓忙しい)……………	二七	うかがう……………	三六	干鱗……………	四四
いたずら……………	二七	浮き世……………	三六	支……………	四五

えびす	四五
選ぶ	四六
襟	四六
縁起	四七
おあし	四七
おいしい	四八
老いぼれる(↓惚れる)	二八八
老いらく	四八
扇	四九
往生	四九
近江	五〇
オオカミ	五〇
おおつごもり	五〇
(↓おおみそか)	五一
おおまか	五一
おおみそか	五一
おおやけ	五二
おおわらわ	五二
おがくず(↓のこぎり)	一八九
おかげ	五三
おかず	五三
おごる	五三

おさおさ(↓幼い)……………五四
幼い……………五四
おしめ(↓おむつ)……………六三
おしゃか(↓シャガ)……………二七
おしろい……………五四
おせっかい……………五五
落ちぶれる(↓あぶれる)一六
落ちる……………五五
おっこちる(↓落ちる)……………五五
おっちょこちょい……………五六
おつむ……………五六
おでん……………五七
弟……………五七
おとぎ話(↓とぎ)……………七五
男……………五六
訪れる……………五六
おとなしい……………五九
乙姫……………五九
乙女(↓男)……………五六
踊り……………五九
驚く……………六〇
おなら……………六〇

鬼……………	六二
おはぎ(↓ハギ)……………	一九五
おぼつかない……………	六三
オミナエシ……………	六三
おむつ……………	六二
おめでとう……………	六三
面白い……………	六三
おもちゃ……………	六四
面(↓顔)……………	六八
面映ゆい……………	六四
おもわく……………	六五
およる……………	六五
愚か……………	六六
女の子(↓子・女の子)……………	二〇八

【か行】

可愛がる……………	六六
かいがいしい……………	六七
カイコ……………	六七
顔……………	六八
かかし……………	六八
鏡……………	六九

蒲焼	カバ	かねて	がなる(↓どなる)	仮名	河童	合点	カツオ	褐	語る・騙る	形見	片づける	片食	かたき	風・風邪	柿(↓とうげ)	カズラ	カシワ	かしこまる(↓かしこい)	かしこい	陰	かき餅
.....																					
七	七	七	一六	六	六	七五	七五	七四	七四	七三	七三	七三	七三	七二	一四	七	七	七	七	七	六
がんばる	かんころ	考える(↓うかがう)	厠	かわたれ	カ	カラス	からかう	からい	柄	カモシカ(↓しし)	髪文字	雷	神無月	神	柿(↓とうげ)	紙	カマドウマ(↓コオロギ)	釜・かまど	被る	歌舞伎	
.....																					
八六	八五	三六	八五	八四	八四	八三	八二	八二	八二	二五	八〇	八〇	八〇	八〇	一四	七九	一九	七九	七六	六	六
屑(↓ちり)	くしゃみ	櫛	草分け	くさる	臭い	紬ける	切り火		キリギリス(↓コオロギ)	義理	行水	肝煎り(↓焼く)	氣ばる(↓いばる)	砧	絹	キツネ		刻む	ぎこちない	きこしめす	
.....																					
一六	九三	九三	九一	九一	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	八九	八九	三〇	三三	八八	八八	八八	八七	八七	八六	八六	八六

くすぐる	九三	黒	一〇二	コオロギ	一〇九
くすぶる	九三	玄人(↓黒)	一〇二	木 枯	一〇
薬	九三	鉄	一〇一	こと	一〇
薬指	九四	黒ん坊	一〇三	ぎ(↓むしろ)	三三
癖	九四	クワ(↓カイコ)	六七	こじあける(↓根こじ)	一八七
くたきた(↓くたびれる)	九五	怪 我	一〇三	こしゃく	一一
くたびれる	九五	けがれる(↓怪我)	一〇三	こだま(↓やまびこ)	二四五
くだらない	九五	怪しからん	一〇三	こと	一一
くだり	九六	ゲジゲジ	一〇三	言 霊	一一
行・件	九六	下種	一〇四	ことぶき	一一
口 占	九七	下駄	一〇四	ことわざ	一一
口づけ	九七	希代	一〇四	ごねる	一一
口説	九八	け ち	一〇五	昆 布	一四
首	九八	けちよんけちよん	一〇五	独 楽	一四
組	九八	けなげ	一〇六	こまかい(↓おおまか)	一一
悔しい(↓悔み)	九八	気 配	一〇六	ごまかす	一一
悔み	九八	煙	一〇七	ごまの灰(↓ごまかす)	一一
位	九八	劍 幕	一〇六	小間物	一一
くらむ(↓暮れる)	一〇〇	げんまん	一〇八	こめかみ	一一
狂 う	一〇〇	子	一〇八	暦	一六
くるぶし	一〇〇	子・女の子	一〇八	ごろつき	一六
くるめく(↓暮れる)	一〇〇	鯉のぼり	一〇九	ころも(↓きぬ)	一八
暮れる	一〇〇				

強 ^{こゝろ}	い	二七	シカ(↓しし)	一三五	しるし(↓白)	一三
【さ行】			しこたま	一三四	白	一三
幸	い	二七	四股名 ^{よもな}	一三	師走	一三
冴える	二八		醜女 ^{みにくめ}	一三四	酢	一三
魚・肴	二八		獣	一三五	すきやき	一三
酒	二九		獅子(↓しし)	一三五	すこやか	一三
ささやく	二九		したたか	一三五	寿司	一三
さしがね(↓めがね)	二三		しつけ	一三六	ススキ	一四
さすがに	三〇		死ぬ	一三六	すすどい	一四
さすらう	三〇		死 ぬ	一三六	スズメ	一五
サトイモ(↓イモ)	三三		偲ぶ(↓死ぬ)	一三六	すだく	一六
さなぶり	三三		しめなわ	一三七	すっぱ抜く	一六
捌 ^{はく}	三三		シャガ	一三七	既に	一七
さばさばする(↓さばく)	三三		しゃきしゃき	一三七	頭抜ける	一七
寂しい	三三		(↓ちよきぶね)	一六〇	ずば抜ける(↓頭抜ける)	一七
侍	三三		しゃっくり	一六	すばる	一七
さようなら	三三		しゃべる	一六	炭	一八
サンドイッチ	三三		しゃもじ	一九	相撲	一八
(↓ちからいい)	一七		砂 利	一九	すりばち・すりこぎ	一九
幸 せ	二三		シラカバ(↓カバ)	一七	せがれ	一九
しおり	二三		調べる	一三〇	せっかく	四〇
	二三		尻込み	一三〇	せつない	四〇
	二三		しらじらしい(↓白)	一三		

せびる(↓みせびらかす)	三三七
せめて	一四二
添水(↓かかし)	六六
そそっかしい	一四二
そそのかす	一四三
そつがない(↓ぞんざい)	一四五
そつき	一四三
そっぽう	一四三
そなえる	一四三
蕎麦	一四四
そばかす	一四四
そむく	一四五
ぞんざい	一四五

【た行】

台所	一四六
たいまつ	一四六
滝	一四七
たぐさん	一四七
颯	一四八
タコ	一四八

たすき	一四九
たそがれ	一四九
ただいま	一四九
畳	一五〇
たたり	一五〇
伊達	一五一
たなばた	一五二
たなびく	一五三
タニグク(↓ヒキガエル)	二〇三
旅	一五三
足袋	一五三
食べる	一五三
卵	一五四
魂	一五四
たらちね	一五五
たらふく	一五五
だるい(↓ひもじい)	二〇六
丹前	一五五
タンポポ	一五五
乳隠し	一五五
力飯	一五五
契る	一五五

ちはやぶる	一五八
ちび	一五八
ちびる(↓ちび)	一五八
ちまき	一五九
茶化す	一五九
チヨウチヨウ	一六〇
猪牙船	一六〇
ちよっかい	一六一
塵	一六一
ついたち	一六二
塚	一六二
つかさどる	一六三
疲れる(↓くたびれる)	一九五
筑紫	一六三
ツクツクボウシ	一六四
つじつま	一六四
堤	一六五
苞	一六五
ツバナ	一六五
ツバメ	一六六
ツブ(↓おつむ)	一六六
つぶやく	一六六

怒鳴る	一六	妻	一六
とと	一六	つまずく	一六
床の間	一七	つまはじき	一六
伽	一七	つまびらか	一六
とがめる	一七	つむじ(↓つむじ風)	一六
峠	一七	つむじ風	一六
出前	一七	ツユクサ	一六
手拭い	一七	つらら	一七
でくのぼう	一七	つれない	一七
手ぐすね	一七	つわり	一七
手紙	一七	手打ち	一七
手	一七	手	一七

願	一八	乏しい	一七
濡れ衣	一八	とろとろ(↓まどろむ)	一七
ぬた	一八	どんたく	一七
拭う(↓手拭い)	一八	とんま(↓のろま)	一七
ニンニク	一八		
ニワトリ	一八		
にぎやか	一八		
にきび	一八		
縄	一八		
悩	一八		
なまめく	一八		
斜め	一八		
謎	一八		
名残	一八		
嘆	一八		
眺める	一八		

【な行】

馬鹿	一九	称宜(↓願う)	一八
蠅参	一九	ネギ	一八
		ねぎらう(↓願う)	一八
		ネコ	一八
		根こじ	一八
		値段	一八
		ネム	一八
		ねんごろ	一八
		ねんねこ	一八
		のこぎり	一八
		熨斗	一九
		のたうつ	一九
		のたまう	一九
		乗つける	一九
		のどか	一九
		ののしる	一九
		のべつ	一九
		のろま	一九

【は行】

葉書	……	一四	へそ	……	三二
ハギ	……	一五	へそくり	……	三二
橋	……	一五	へど	……	三三
はしか	……	一六	へらず口(↓くだらない)	……	九五
ハス	……	一六	ほうき	……	三三
旗	……	一七	葬る	……	三三
畑	……	一七	ホウレンソウ	……	三四
ハチ・鉢	……	一八	頬(↓ほった)	……	三七
派手	……	一九	ほくろ	……	三四
花	……	一九	鋒	……	三五
鼻のス	……	一九	ほころびる	……	三五
馬糞紙	……	一九	ほぞ(↓へそ)	……	三一
腹ぺこ	……	二〇	ほだされる	……	三六
春	……	二〇	ホタル	……	三六
晩酌	……	二一	ほった	……	三七
半どん(↓どんたく)	……	二七	ホトギス	……	三七
ヒイラギ	……	二三	炎	……	三七
ひがむ	……	二三	ほのめかす	……	三八
ヒキガエル	……	二三	ボヤ(↓炎)	……	三七
ひしひし(↓ひしめく)	……	二三	惚れる	……	三八
ひしめく	……	二三	ホンダワラ	……	三九
ひしゃく	……	二三			
びた一文	……	二四			
左利き	……	二四			
左ぎつちよ(↓左利き)	……	二四			
ひとしお	……	二五			
鄙(↓みやこ)	……	二九			
ひな人形	……	二五			
ひもじい	……	二六			
ひるむ	……	二六			
尋	……	二七			
尾籠	……	二七			
不甲斐ない	……	二八			
ふすぶる(↓くすぶる)	……	三三			
襖	……	三八			
ふつつか	……	三八			
舟ぐろ	……	二九			
舟	……	二九			
ふるさと	……	三〇			
風呂敷	……	三〇			
ふんだん	……	三一			
ぺこぺこ(↓腹ぺこ)	……	三〇			
ペー(↓ま)	……	二四			
ぺこんぺこん(↓腹ぺこ)	……	三〇			

【ま行】

舞	三九
枕	三〇
鬘物	三〇
まさか(↓まざまざ)	三一
まざまざ	三一
まじなう	三一
枡	三一
まつわる	三一
まとめる(↓まつわる)	三一
窓	三一
まどろむ	三一
まないた	三一
学ぶ	三四
ままごと	三四
鞆	三五
御門	三五
みことのり(↓のたまう)	一九
みすぼらしい	三六
店	三六
みせびらかす	三七

味	三七
陸奥	三八
薬袋(↓やくたい)	二四
水無月	三八
港	三九
都	三九
婿(↓嫁)	二五
無惨	三〇
むしゃくしゃ	三〇
席	三一
むずかしい	三一
むずかる	三一
むちゃくちゃ	三二
(↓むしゃくしゃ)	三〇
むつき(↓おむつ)	六二
むつごと(↓むつまじい)	三三
むつまじい	三三
胸ぐら	三三
村	三三
めがね	三三
めくばせ	三三
恵み	三四

めざましい	三五
飯	三五
珍しい	三六
めちやくちゃ(↓めった)	三六
めった	三六
馬手(↓ゆんで)	三九
もがき(↓はしか)	一九
餅	三七
もののふ	三七
もみじ	三八
モモ	三八
股(↓モモ)	三八
百千万	三九
もろう	三九

【や行】

やきもち	四〇
焼く	四〇
益体	四一
やさしい(↓みすぼらしい)	三六
社	四一
休む	四二

厭だ(↓いや)……………二四三

やたら……………二四三

やつきもっさ……………二四二

やつす……………二四三

やつれる(↓やつす)……………二四三

宿……………二四三

やぶいり……………二四四

大^や和……………二四四

やまびこ……………二四五

ヤモリ……………二四五

結納……………二四六

浴衣……………二四六

ゆかり……………二四七

油断……………二四七

湯たんぼ(↓タンポポ)……………二五八

揺らぐ……………二四八

ユリ……………二四八

許^ゆす……………二四九弓^ゆ手……………二四九

ようず……………二五〇

世の中……………二五〇

よばい……………二五〇

よみがえる……………二五二

嫁……………二五二

縊^はる(↓縄)……………二五二

鎧……………二五二

【ら行】

埒……………二五二

力^り士……………二五三律^り儀……………二五三

リンドウ……………二五四

流^り人……………二五四

連中……………二五五

浪人……………二五五

ろくでなし……………二五六

【わ】

若水……………二五八

災い……………二五七

僅か……………二五七

綿……………二五八

わだかまる(↓綿)……………二五八

私……………二五八

わめく……………二五九

わら(↓わらじ)……………二五九

わらじ……………二五九

わらべ……………二五九

割勘……………二六〇

わんわん……………二六〇